

報道関係者各位

2014年12月11日
一般社団法人ウェブベルマーク協会

ふだんのお買い物で、東北の被災校支援を。

ウェブベルマーク運動、本日より

会員登録無しで支援出来る仕組みスタート!!

～だれでも無理なく続けられる新しい社会貢献活動～

一般社団法人ウェブベルマーク協会（理事長：小島敏郎／青山学院大学教授、元環境省地球環境審議官）は東日本大震災被災地等の復興支援に資することを目的に、昨年9月より開始した「ウェブベルマーク運動」の取り組みを開始しました。利用者より、より簡単に、より便利に支援出来る仕組みを構築してほしいという声を多く頂戴し、本日より会員登録無しでネットでのお買い物で支援出来る仕組みを導入します。

今まで最初にウェブベルマークサイトに訪問し買い物をする際、会員登録を行い、ログインした後、協賛会社サイト（現在11社39サイト）でネットショッピングした場合のみ支援金が発生しておりましたが、今後はウェブベルマークサイトに訪問し、協賛社サイトでネットショッピングすれば支援金が発生します。

このためより多くの方々のご利用と支援金拡大により被災地等の支援活動に貢献出来るようになります。

東日本大震災から3年半が経過し、被災地の現状を伝える情報は日に日に少なくなっています。復興途上にあるとはいえ、被災校における子どもたちを取り巻く教育環境は、まだまだ充分に復旧したとは言えません。

こうした背景から、従来のベルマーク運動（公益財団法人ベルマーク教育助成財団が運営）に加え、ウェブベルマーク運動は、ウェブベルマークサイトを経由して協賛会社のオンラインショップで買い物やサービスを申し込むだけで、岩手・宮城・福島などの被災校（小・中学校及び特別支援学校）に支援金が送られる新しい社会貢献活動です。

報道関係者の皆様におかれましてもウェブベルマーク運動の促進に向け、何とぞ御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。



(ウェブベルマーク ロゴ)

ウェブベルマークサイト
<http://www.webbellmark.jp/>

〈ウェブベルマーク運動に関するお問い合わせ先〉

(ウェブベルマークに関するお問い合わせ先)

ウェブベルマーク運動広報事務局 担当：今宿（いましゅく） TEL 03-6441-6262
携帯 080-5381-1609
メール hiroaki.imashuku@webbellmark.jp

一般社団法人ウェブルマーク協会について

一般社団法人ウェブルマーク協会は、公益財団法人ベルマーク教育助成財団が行うベルマーク教育助成運動への助成金を提供することにより、東日本大震災被災地等の復興支援に資することを目的として、2013年8月1日に法人設立しました。本協会は、下記の5団体により構成され、活動期間は5年間です。

- ・公益財団法人 ベルマーク教育助成財団
- ・株式会社 朝日新聞社
- ・株式会社 博報堂
- ・株式会社 博報堂DYメディアパートナーズ
- ・株式会社 タグボート

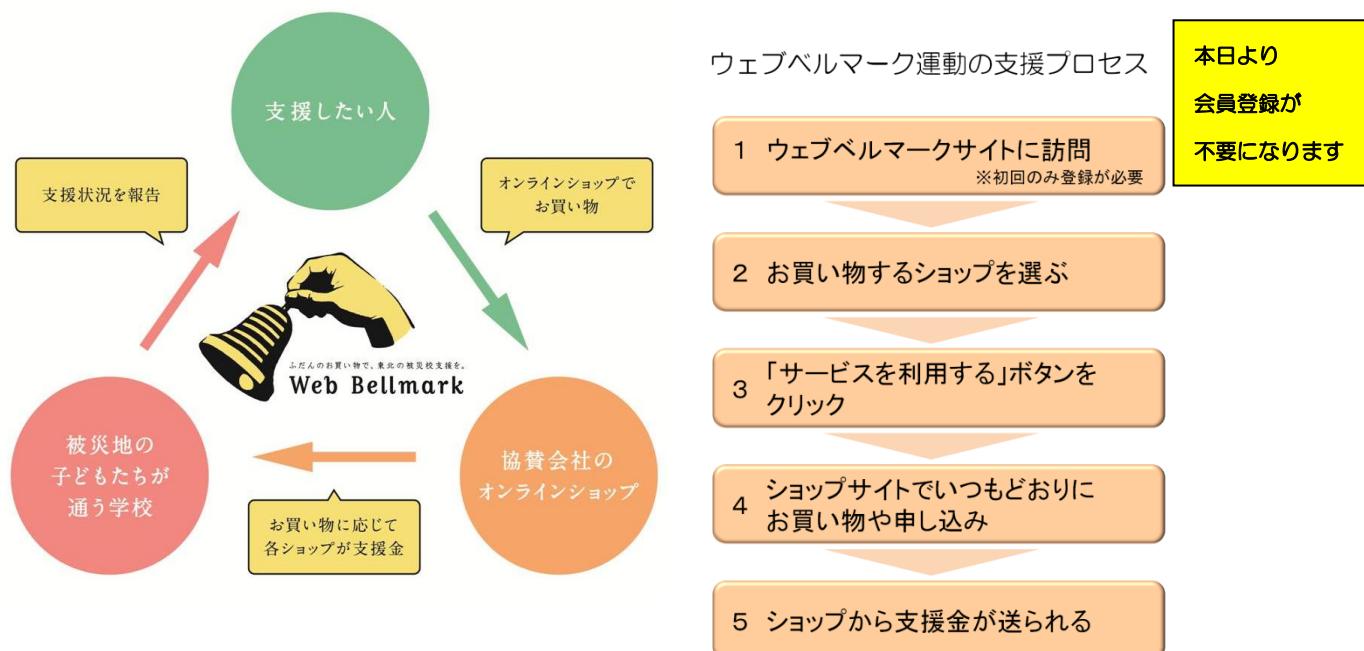
〈一般社団法人ウェブルマーク協会理事長：小島敏郎〉

青山学院大学国際政治経済学部教授、財団法人「地球環境戦略研究機関」シニア・フェロー、名古屋市経営アドバイザー、愛知県政策顧問、元環境省地球環境審議官。

東京大学法学部卒業後、環境庁入庁。「京都議定書目標達成計画」を策定し閣議決定される。洞爺湖サミットで環境問題交渉を担当。「クールビズ」の発案者。

ウェブルマーク運動について

ウェブルマーク運動は、支援したい人がウェブルマークサイトを経由して協賛会社のオンラインショップでお買い物をしていただくことにより、協賛会社からウェブルマークサイトあてに発生する広告費及び協賛金を原資に公益財団法人ベルマーク教育助成財団が行う東日本大震災復興支援事業等に助成金を提供する運動です。現在11社（39サイト）が協賛しております。



ウェブルマーク運動 協賛会社

〈2014年12月11日時点〉

- ・ドゥクラッセ
- ・エプソン販売
- ・キヤノンマーケティングジャパン
- ・ロッテ
- ・グリー
- ・ユーキャン
- ・テレビ朝日
- ・ヤフー
- ・楽天
- ・リクルートジョブズ
- ・リクルートライフスタイル
- ・朝日新聞社（順不同）

コンセプトと仕組み

ウェブベルマークは、日本人にとって馴染みの深い「ベルマーク」と同じ、企業参加型の社会貢献活動です。

【企業】はマーケティング活動を通して、【ユーザー】は無料で気軽に、東北の子どもたちへの支援を継続することができます。

ウェブベルマークの仕組みは、ECサイトのアフィリエイトを活用します。企業が参加するにあたって、支援金のスキーム構築に追加費用の必要がありません。他のアフィリエイトサイトに対するのと同様、成果に応じて支援金をお支払いいただきます。ユーザーは、自宅でできるボランティアとして、ECサイトでお買い物、サービスの申し込み前にウェブベルマークサイトを経由するだけで、支援金を継続的に生み出すことができます。

支援金の使い方

ベルマーク運動のへき地校支援のうち、東北（岩手・宮城・福島）の小中学校への支援に利用目的を絞って助成します。

*ベルマーク運動は1960年に朝日新聞社がスタートさせた、子どもたちの教育環境改善を企業参加型で実現する、社会貢献活動。2014年現在、全国約28,000校の小中学校が参加し、年間約5億円（5億点）相当の教育設備品を購入しています。長い歴史と参加世帯数の多さからくる信頼性ゆえ、被災地の学校からは、支援設備品を選択できるという自由度に対し、高い評価を受けています。ベルマーク財団では、震災発生から2013年度まで、のべ1127校、3億6630万円相当の支援を実施しています。

ウェブベルマーク …東北の被災校に特化した、新しいベルマークの教育支援

